

学校だより 北 陵

川西市立北陵小学校
校長 齋木 久雄

うらかな陽光の季節となりましたが、保護者の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。お陰を持ちまして、3月19日（火）の卒業式に引き続き、本日無事に平成30年度の修了式を行うことができました。保護者の皆様方には、この1年間、本校の教育活動に深いご理解と多くのご支援を賜りました事に、学校を代表して心より厚くお礼申し上げます。

以下に本日の修了式での校長講話の概略を記します。

今日は、皆さんの1年間を締めくくる平成30年度の修了式ですが、以前にもお話をした通り、私にとっても38年間の教員生活を締めくくる式になります。

私は、教員生活の最後の3年間をこの北陵小学校で皆さんと一緒に過ごせた事を、とても嬉しく思っています。そして、明るく素直で、ルールやマナーを良く守り、何事に対しても前向きに一生懸命に取り組んでいる皆さんの事を誇りに思っています。

私は、今までにも朝会等の場で色々なお話をしてきましたが、今日は、2年前の7月の朝会でお話をした感謝の気持ちを伝える「ありがとう」について改めてお話をします。この話は、先日の1／2成人式と卒業式でもお話をしましたので、4・5年生の皆さんには同じ話の繰り返しになりますが、とても大切な話なのでもう一度しっかりと聞いて下さい。

「大きい」の反対語は「小さい」、「長い」の反対語は「短い」ですが、それでは、「ありがとう」の反対語は何でしょうか？ 覚えていますか？ 答えは「当たり前」なんです。

「ありがとう」の語源は「有り難い」。つまり、「有る」という事が「難しい」ということなんです。「ある」ということがなかなか無いことなのに「ある」。それは本当に幸せなことだから、ああ「有り難い」・「ありがとう」となります。だから、「あるのが当然」と思っていることは、「有り難い」の正反対。「ありがとう」の反対は「当たり前」ということです。

私達は、普段の生活の中でスイッチを入れると電気が付き、水道の蛇口を回すと水が出るのが当たり前になっているので、電気や水道水を使う時に感謝の気持ちを持っていないと思います。しかし、大きな災害が発生して電気や水道が使えなくなると、私達はその有り難さに気付き、感謝の気持ちが湧いてきます。

もっと身近な例えでは、家族がそうです。

旅行をしてホテルに泊まると、夕食や朝食の代金を含めた宿泊代金を支払わなければなりません。皆さんは、昨日、晩御飯を食べて、お風呂に入って、洗濯されたきれいな下着に着替えて寝ましたね。そして、朝起きて、顔を洗って朝ごはんを食べて、洗濯されたきれいな服に着替えて学校に来たと思いますが、当然、皆さんはお金を支払っていません。

皆さんがこうして学校に来られるのは、お父さんやお母さん、お家の方が、みなさんのために働いてくださっているお陰です。

皆さんは、お父さん・お母さん・お家の方を始め、本当に多くの方々のお世話になって今まで育ってきました。それは決して当たり前ではありません。

この修了式を通して、改めてお父さん・お母さん・お家の方を始め、日頃お世話になっている方々に対して、「ありがとう」の感謝の気持ちを持って欲しいと思います。

そして、皆さんは、これから先もお父さん・お母さん・家族の方をはじめ、多くの方々のお世話になりながら成長していきますが、皆さんが大人になった時に、皆さんのお父さん・お母さん・ご家族や、お世話になった方々から、あなたの親で良かった、あなたの家族で良かった、あなたと出逢えて良かったと思ってもらえるような立派な大人になってくれることを願っています。

また、皆さんは4月から、一つ上の学年に進級して、新入生を迎えて新しい年度がスタートしますが、この北陵小学校の素晴らしい伝統をしっかりと受け継いで、みんなで力を併せて、更に素晴らしい北陵小学校を築いて下さい。

最後になりますが、皆さんは、本当に素晴らしい可能性をみんな平等に持っています。しかし、努力をしなければ、その可能性はどんどん少なくなってしまいます。卒業式でもお話をしましたが、人生には自動ドアやエスカレーターはありません。ドアや階段の前に立っているだけでは、いつまで経ってもドアは開かず、階段を上って行く事は出来ません。これからは、皆さん自身が自分の手でドアを開き、自分の足で目標に向かって一步一步階段を上って行って下さい。

私は、今日で皆さんとお別れしますが、この北陵小学校の皆さんの事を、これからもずっと見守っています。

<保護者の皆様へ>

私は、3年前の4月に本校に着任してから本日まで、学校が休みの日以外は、ほぼ毎日ホームページを更新して学校での子ども達の様子をお知らせしてきました。そして、朝会等で子ども達に話した内容を中心にした学校便りを毎月発行してきましたが、先日、ある方からとても嬉しいお電話を頂戴しました。そのお電話は、「いつもホームページや学校便りを拝見しているが、その内容から、学校長の子どもや保護者への深い愛情を感じる」というとても有り難い内容でした。

私がこれまでに発行した学校便りの内容は、その殆んどが私が読んだ本の中から「なるほど」と思った部分の引用（抜粋）であり、改めて読み返してみると私自身が実践できていない部分も多々あります。しかし、私にとっては「渾身」の学校便りであり、いよいよ今回が最終号になります。

以前にもお伝えしましたが、子育ては、時には思い通りにいかずに不安になったり落ち込む事もあると思いますが、決して完璧な親である必要はないと思います。誰でも失敗をするし欠点もあります。大切なのは、子育てに完璧を求めるのではなく、子育てを楽しむことだと思っています。

初めて親になった時の「喜びと感動」を思い出して頂いて、「親であることの幸せ」をかみしめながら「今」しかできない「子育て」を楽しんで頂きたいと願っています。

結びになりますが、この3年間、本当にお世話になりありがとうございました。保護者の皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして、私の退任のご挨拶とさせていただきます。

<4月の行事予定>

8日（月）離着任式・始業式 9日（火）第33回入学式 10日（水）身体測定（4・5・6年） 11日（木）2～6年給食開始、身体測定（1・2・3年） 12日（金）地区児童会 17日（水）1年生を迎える会、1年給食開始 18日（木）全国学力・学習状況調査（6年） 19日（金）朝会 22日（月）委員会活動 23日（火）6年校外学習 24日（水）耳鼻科検診（1・4年） 26日（金）参観・懇談・PTA総会